# 解決したい課題

大規模災害時、避難所への物資配給の偏りによって、

「とある避難所には物資があり余っているが、別の避難所にはない」 という状態が生まれ、**適切な支援が遅れる事態が度々起きています。** 

自然災害の多い日本で、今後も同様のことが起こり得ます。

万が一、しかしそのときに備えて、支援の初動のために

避難所や避難者の状況を迅速に把握できるようにできないだろうか?

# 「いざ」という時、

効率的な支援のための情報を、

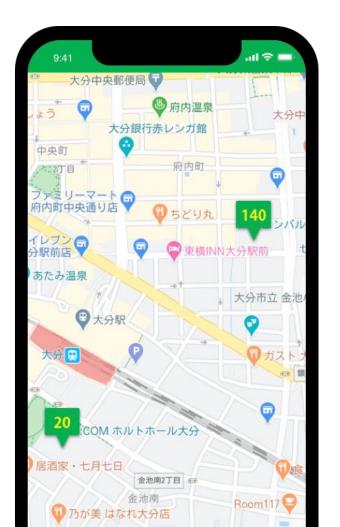
リアルタイムに可視化する。

proposed by

大分県技術・市場交流プラザ大分 シェルタスチーム

# 避難所の可視化

# 避難所の場所

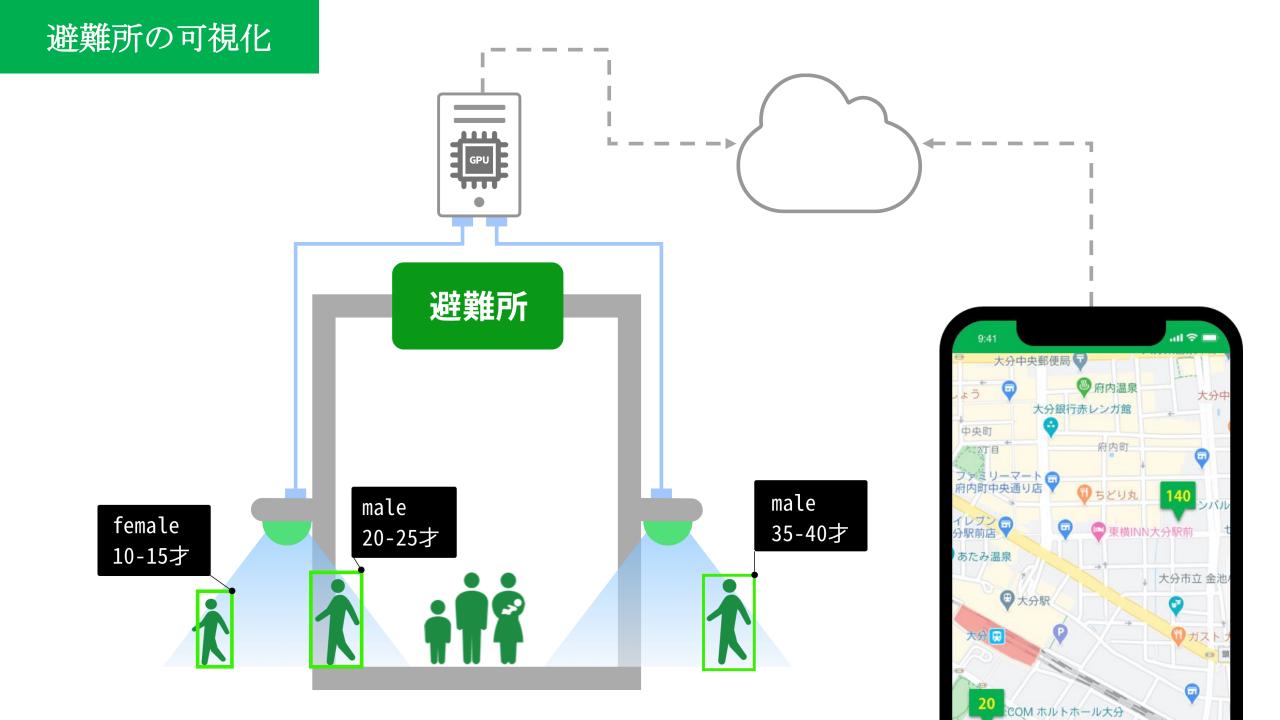


# 滯在者数



# 設備・備蓄情報

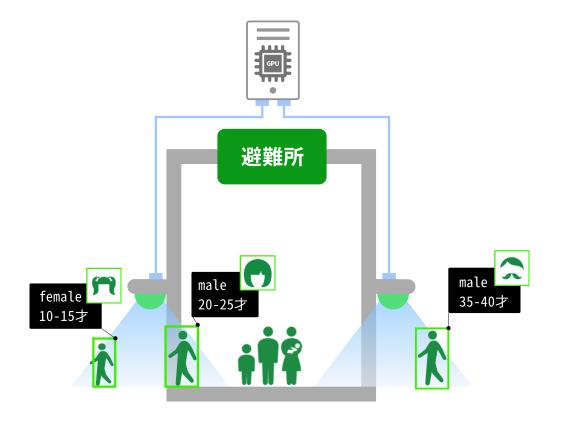






## しくみの全体像





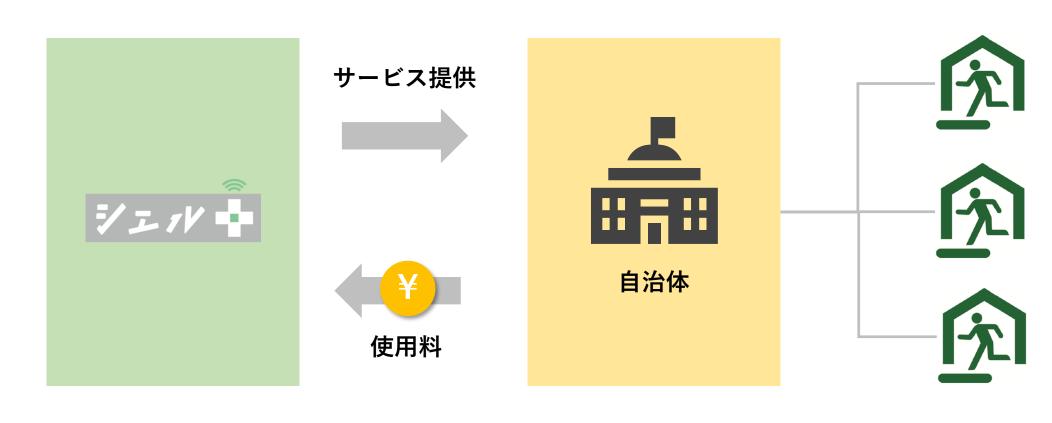
- II 管理者による施設情報可視化
- AI 人認識による滞在者数カウント
- AI 顔認識による安否確認

#### 他 機能

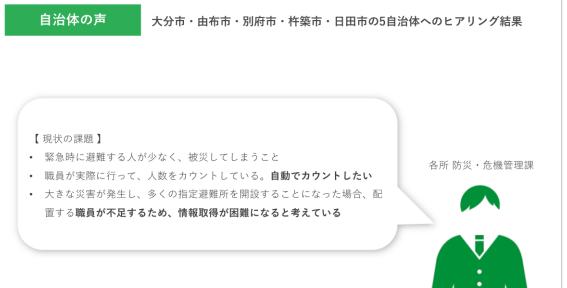
- IT 臨時掲示板立ち上げで必要情報発信
- AI 感情測定による被災者の精神状態把握

# 指定避難所 78,243施設

(2019年10月1日時点)



# アイデアに対し概ね好意的な意見をいただきました。



#### 自治体の声

大分市・由布市・別府市・杵築市・日田市の5自治体へのヒアリング結果

#### 【要望】

- 避難所の避難者数や物資の不足などが見える化し共有したい => 構想内
- 防犯や摘発のために顔認識機能がほしい => 構想内

#### 【 アイデアへのコメント 】

- 役に立ちそう
- ・試験導入を検討してもよい

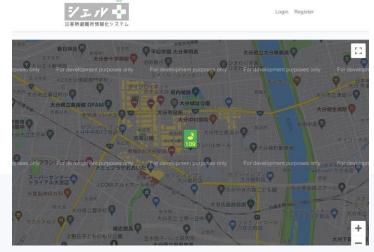
各所 防災・危機管理課



# これまでの活動

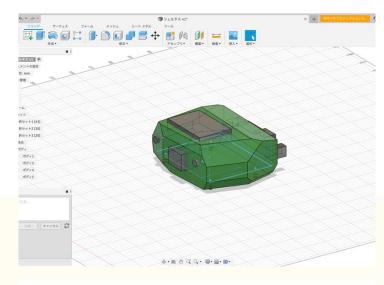
### プロトタイプ制作と実証試験

### ウェブシステム開発





#### デバイス開発





### 実証試験





① カウンタープログラム精度向上の ためのトレーニング技術の必要性

② 顔認証実装のための技術的知見の必要性